

MONTHLY JMDP（2025年9月12日号）から
日本骨髄バンクの現状（2025年8月末現在）

	7月	8月	現在数	累計数
ドナー登録者数	2,766	2,312	5,646,113	1,008,903
患者登録者数	218	202	1,760	71,974
採取数(骨髄)	60	53	-	27,323
採取数(末梢血幹細胞)	46	35		2,616
採取合計	106	88		29,939

＜年代別ドナー登録者数現在数＞

10代	5,077 人
*8月の10代の新規登録者 174人	
20代	99,485 人
30代	137,612 人
40代	208,313 人
50代	114,126 人

＜8月区分別ドナー登録者数＞

献血ルーム	589 人
献血併行型集団登録会	1,686 人
集団登録会	8 人
他	29 人

愛知県の現状

愛知県登録者数(8月)				愛知県移植患者・提供者実施者数(8月末現在)				全国累計	
登録数	取消数	増減	累計	患者居住地	移植数	提供者居住地	採取数	移植数	採取数
73	128	-55	21,309	1,744	2,390	1,732	2,072	29,816	29,939

「いつも応援ありがとう!」

7月20日(日)、当会のオフィシャル応援ソング第2弾「願い事ひとつ叶うなら」のお披露目の会がありました。歌っているのは第1弾の「ARE YOU HAPPY READY!?!」と同様、あの有名な田村直美さんと加藤タクヤさん。田村さん、加藤タクヤさんはじめBSJのメンバーはいつも様々な会場で応援下さっています。そしてCD売上の一部は当会にご寄付いただいています。この日も皆様からの温かいお気持ちがいっぱい詰まったご寄付をいただきました。また、いつも骨髄バンクを応援いただいているあべ静江さんからもお気持ちが届きました。今回はお会いすることが出来ませんでしたでしたが感謝状をお渡しました。日頃から骨髄バンク、当会を応援いただいている皆様のお気持ちを大切にこれからも活動、頑張ります!



事務局だより

- 今年の夏は異常な暑さで、10月になっても名古屋の昼間は夏日。朝晩は随分過ごしやすくなりましたが未だ「残暑」「熱中症」という言葉を耳にします。これだけ暑いと屋外での活動に積極的に参加する事も難しくなります。今後、ボランティアさんたちの安全を考えて活動していかないとダメですね。
- コロナ感染症の影響がほとんどなくなった今、各地で献血併行型ドナー登録会やイベントが開催されるようになりました。健康まつりや福祉まつり、学校祭などほぼコロナ前に戻り、骨髄バンクを知っていただく機会が増えました。各会場でお会いする、お話する方々との出会いも活動する上での楽しみの一つです。「登録しているよ」「提供したよ」「移植して元気になったよ」「骨髄バンク、応援してるよ」等々……。皆様からパワーをいただいて今年の推進月間も頑張ります。

ご寄付のお願い

あいち骨髄バンクを支援する会の活動は皆様方の善意によって支えられています。いただきましたご寄付は骨髄バンクドナー登録拡大のため、また血液難病の患者さんやそのご家族のお力になりますよう、大切にに使わせていただきます。ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

寄付受付

- 一般寄付 この会の趣旨に賛同してご寄付いただける方
 - 賛助会員 この会の趣旨に賛同し、継続的にご寄付をしていただける個人、企業及び団体
- ※企業及び団体 一口30,000円/年
※個人 一口10,000円/年

銀行口座

三菱UFJ銀行

金山支店 普通 3 6 5 4 7 8 0

郵便振替口座

00890-0-76637

ボランティアについて

- ボランティア会員 この会の趣旨に賛同し、運営や活動に直接関わっていただける方。会費は無料です。会報や活動報告、イベント案内、骨髄バンクの情報などをお送りいたします。

あいち骨髄バンクを支援する会は、国税庁より「認定特定非営利活動法人(認定NPO法人)」として認められました。これにより2011年2月16日より(2016年からは名古屋市より)当会にご寄附いただける個人・法人の皆様は寄附金控除等の税法上の優遇措置を受けることが出来るようになりました。(所得税・法人税・相続税)

認定特定非営利活動法人 **あいち骨髄バンクを支援する会**

あいちの会 NEWS
第51号 2025/10/15発行

発行責任者/北折健次郎 編集/あいちの会 NEWS 編集委員会

認定 NPO 法人 あいち骨髄バンクを支援する会 〒464-0006 名古屋市千種区光ヶ丘 1-22-7-105
電話 &FAX052(712)0457 E-mail:npoaichi@tj9.so-net.ne.jp HP <https://aichinokai.or.jp/>

行政との協働事業

「令和7年度骨髄バンクドナー登録業務担当者研修会」

9月1日(月)、愛知県庁三の丸庁舎にて開催の「骨髄バンクドナー登録業務担当者研修会」に出席しました。最初に愛知県より、「令和7年度骨髄バンク推進月間」等について、愛知県赤十字血液センターより、「骨髄バンクドナー登録受付業務について」話があり、休憩を挟んで当会より「骨髄バンクドナー登録時の注意点とロールプレイ」という内容でお話させていただきました。短縮版「ドナー登録案内マニュアル」とグラビアを使って登録手続きの注意点や手順を説明、提供経験者でもある当会ボランティアよりドナー登録時のきっかけやお気持ち、提供時のお気持ちやその時の様子などをお話いただきました。その後、ロールプレイを行い、当会スタッフがファシリテーターを務めさせていただきました。今年度は参加者の半数以上が初めて登録業務に携わるとの事。皆様、真剣に取り組んでいらっしゃいました。



「愛知県骨髄バンクドナー登録推進調整会議」

9月11日(木)、愛知県庁三の丸庁舎にて開催の「愛知県骨髄バンクドナー登録推進調整会議」に出席しました。推進調整会議は有識者、関係団体の代表者及び関係行政機関の職員で構成されています。骨髄バンク推進月間について、骨髄バンクドナーの登録の推進に関する啓発活動の効果的方策を検討します。今年度の会議では、(1)令和7年度骨髄バンクドナー登録推進事業実施状況について、(2)令和7年度骨髄バンク推進月間について、(3)骨髄提供者(ドナー)に対する助成制度について、(4)造血幹細胞移植の現状についてそれぞれの立場からのお話がありました。骨髄バンクが設立されて30年以上が経過した今、登録者が伸び悩んでいるのはなぜか……。若年層に向けてどのように広報していけばよいか。活動していく中での課題が改めて浮き彫りになった時間でした。今後も一人でも多くの患者さんのお力になれるよう行政、他団体、医療者の皆様と連携を取りながら活動していきたいと思います。

「愛知県献血運動推進大会」にて広報活動

7月25日(金)、中区役所ホールにて行われた「令和7年度 愛知県献血運動推進大会」会場にて広報活動を行いました。第1部の式典では永年献血に協力されている個人の方々や団体に感謝状などが贈呈され、第2部のアトラクションでは愛知県松陰高等学校 和太鼓部の皆さんが心に響くパワフルな演奏をご披露くださいました。会場入口で、大会に来られた皆様にギフトオブライフとキティちゃんのティッシュペーパーを配りました。献血に対して熱心な、社会貢献に対しても意識の高い方々が集まっていらっしゃるだけあって、皆様が気持ちよく笑顔で受け取ってくださいました。骨髄バンクについて、多くの方々により深くわかっていただけたように思います。また「登録しています」「提供したことがあります」などの温かいお声もかけていただきこちらが励まされました。



活動報告 2025/7～2025/9

7/4	「滋慶学園COMグループ社会貢献ミュージカル」結団式	アートピアホール
7/8	会報発送作業	あいちの会事務所
7/20	「BSJプロジェクト」贈呈式	BSJシアターVANQUISH
7/21	CBCラジオまつり「つボイノリオの聞けば聞くほど」事前準備	CBC会議室
7/25	愛知県献血運動推進大会	中区役所ホール
7/27	「矢田ザニア2025」打合せ	矢田コミュニティセンター
8/2	第5回 絵本フェス	吹上ホール2階
8/21	なごやNPO応援事業参加団体打合せ	名古屋市市民活動推進センター 集会室
8/25	CBCラジオ「つボイノリオの聞けば聞くほど」出演	CBCラジオ
9/1	令和7年度骨髓バンクドナー登録業務担当者研修会	愛知県庁三の丸庁舎
9/11	市政情報番組撮影	献血ルーム ゲートタワー26
9/11	令和7年度愛知県骨髓バンクドナー登録推進調整会議	愛知県庁三の丸庁舎
9/14	「あいち小児がんの会」設立シンポジウム	ウィルあいち
9/25	「ぼらマッチ！なごや2025」説明会	愛知大学 名古屋キャンパス
9/30	市政情報番組プレビュー 編集確認作業	名古屋市役所

献血併行型ドナー登録会報告(2025/7～2025/9)

実施日	実施場所	登録人数	実施日	実施場所	登録人数
7/5(土)	イーアス春日井	12 人	8/27(水)	真清田神社	3 人
7/16(水)	碧南市役所	5 人	9/7(日)	文化フォーラム春日井	4 人
7/16(水)	尾張旭市役所	6 人	9/14(日)	豊田スタジアム	6 人
7/30(水)	愛知県庁西庁舎	1 人	9/21(日)	ピアゴ大治店	3 人
7/31(木)	愛知県庁西庁舎	5 人	9/22(月)	阿久比町保健センター	1 人
8/1(金)	愛知県庁西庁舎	4 人	9/26(金)	日本福祉大学 美浜キャンパス	6 人
8/1(金)	常滑市役所	0 人	9/27(土)	アピタ稲沢店	5 人
8/8(金)	慈恵福祉保育専門学校	1 人	9/28(日)	ヨシズヤ津島本店	2 人
8/17(日)	リニモテラス公益施設	5 人	9/30(火)	豊田市役所	4 人
8/22(金)	武豊町役場	3 人			

CBCラジオ「つボイノリオのけば聞くほど」

7月26日(土)、27日(日)、エディオン久屋広場にて「CBCラジオ夏まつり2025」が開催されました。番組ブース、飲食ブースなどが出店、名古屋の中心で毎年行われています。「つボイノリオの聞けば聞くほど」では「つボイノリオの駄菓子屋さん」を27日に出店しました。駄菓子、おもちゃセット、アイス饅頭、番組グッズを販売し、その売上の収益を毎年、あいちの会にご寄付くださいます。つボイさん、小高さんをはじめとしてリスナーさん、アイス饅頭をご提供くださる「寿恵広」さん、番組・番組スタッフの皆様のご支援により今年もたくさんのご寄付、163,095円をいただきました。ありがとうございました。いただいたご寄付は患者さん、ご家族のため大切にに使わせていただきます。



それに先立ち、その準備として7月21日(祝・月)に駄菓子屋さんで販売する駄菓子の袋詰めのお手伝いに参加しました。今年参加のボランティアはお子様たちも含め13名、リスナーボランティアさんと一緒に10種類近くのお菓子やおもちゃを袋詰めした後、ギフトオブライフとキティティッシュを同封して「金太負けるなシール」で留めて、箱詰め。当会ボランティアとリスナーボランティアさんとの連携でスムーズに行うことが出来ました。番組を終えたつボイさんと小高さんも来てくださり、同封のおもちゃで手品をご披露、つボイさんや小高さんともお友達のように一緒に楽しんでいる男の子も…。一方、女の子たちはコツコツ黙々と作業、彼女たちをお手本に私も頑張りました。

7/27(日)のラジオまつりの「聞けば聞くほど」のブースでの駄菓子販売は、あっという間に売れてしまったとか…。暑い中、本当にありがとうございました。

8月25日(月)には昨年に続き番組内で贈呈式が開催され参加しました。生放送で直接、皆様にお礼を申し上げるとともに、骨髓バンクの現状、問題点、課題、最近の治療についてお話してきました。改めて多くの方にご支援いただき当会の活動は成り立っていることを実感させていただきました。皆様のお気持ちを大切に今後も活動を続けてまいります。

寄付者名簿 2025/7～2025/9 多くのご寄附をありがとうございました(敬称略・順不同)

7	小栗利朗	10,000	7	釘貫由美子	20,000
	東海ろうきんNPO寄付システム	42,900	8	東海ろうきんNPO寄付システム	36,800
	千田龍彦	5,000		つボイノリオの聞けば聞くほど	163,095
	岡田春枝	10,000		骨髓バンクチャリティ麻雀大会実行委員会	100,000
	加藤タクヤ	50,000		磯貝弘	5,000
	大浦幸一	10,000	9	鵜飼孝一	10,000
	加藤徳男	3,520		東海ろうきんNPO寄付システム	37,000
	株式会社BSJ	20,000		聖霊高等学校保健委員会	3,077
	越智知子	10,000		水谷久美	5,220

絵本作家とふれあう【絵本フェス】にて広報活動

8月2日(土)、吹上ホールにて行われた「第5回 絵本フェス」に今年も参加、来場者にギフトオブライフ、ハローキティティッシュを配布、多くの方に骨髓バンクを知っていただく機会となりました。このイベントは日本最大級の絵本の祭典ということで、日本全国から絵本作家が集まり、大人向け・子ども向けの絵本の展示・販売が行われました。今年は101名の作家さんが参加、来場者はなんと4,411名。絵本作家による読み聞かせやサイン会も行われ会場は笑顔でいっぱいでした。



昨年より、主催者様のご厚意でブースをご提供いただいています。お隣では愛知こどもホスピスプロジェクトの皆様も参加、今年もレモネードスタンドを設置して病氣と闘っている子どもたちを応援していました。絵本フェスということで当会のブースにも「春ちゃんは元気です」「いのちのあさがお」など展示、絵本を手に取り真剣に読む子どもたちがいました。コウスケ君のあさがおの種を手取る子も…。幼いころからいのちについて考える機会となるととても大切な場だと感じました。「ドナー登録しています」「家族が治療中です」などの声も届きました。骨髓バンクを知っていただくだけでなく様々な出会いがあるイベントに参加、活動が続けることの大切さを感じた一日でした。

滋慶学園COMグループ社会貢献ミュージカル 明日への扉「Hospital Of Miracle」結団式にて講和

7月4日(金)、アートピアホールにて名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校主催の社会貢献ミュージカル 明日への扉「Hospital Of Miracle」結団式が行われ、今年も出席させていただきました。骨髓バンク普及の為に協力いただいている滋慶学園COMグループ 滋慶学園「名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校」の学生さんたちが演じる骨髓移植推進キャンペーンミュージカル 明日への扉「Hospital Of Miracle」は「人の優しさと命の大切さ」「生きることのすばらしさ」を伝えます。また、このミュージカルは出演者だけではなく、音響・照明・舞台制作・運営など全て学生さんが行ないます。学生さんたちの力が集結した舞台と言えます。



今年の結団式はバンクドナーさんからの移植でお元気になった患者さんにもご同行いただき、発病から現在に至るまでの想い、ドナーさんへの感謝の気持ちなど伝えていただきました。学生さんたちはお稽古を始めるにあたり、本番を迎えるにあたり、骨髓バンクの事や病気の事、骨髓移植の事などの知識を得て、モチベーションをあげていきます。脚本・演出の先生、プロデューサーの先生からのメッセージ、各セッションのリーダー紹介と決意表明もあり、学生さんや先生方の意気込みを感じました。

滋慶学園では1992年より骨髓移植推進キャンペーンミュージカルに取り組んでいます。名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校主催の開校は平成14年、ミュージカルは当時から開催されてきました。本番終演後、学生さんたちは募金活動を行い、日本骨髓バンクに寄附されます。長きにわたりご支援いただき感謝の気持ちでいっぱいです。今から2026年1月31日(土)、2月1日(日)の本番が楽しみです。

真清田神社で登録会

8月27日(水)、今年度も一宮ライオンズクラブ主催の献血併行型ドナー登録会が由緒ある真清田神社にて行われました。真清田神社での献血は毎年、献血バスではなく採血ベッド持ち込みです。今年はベッド14台で開催されました。14台のベッドが並ぶ様子は「スゴイ!」の一言です。



毎年、9時30分の献血開始前から献血者は受付に並びます。多くの方にご協力いただき感謝の気持ちでいっぱい。献血に来られた方々に啓発用ティッシュとギフトオブライフを配布、登録を呼びかけました。「患者さんのお力になれるなら」と登録を決意、同行されていたお友達も一緒に登録いただきました。今年3月にも一宮ライオンズクラブ主催の登録会が開催されました。例会にお邪魔させていただきお話を聞いていただくこともあります。いつも骨髓バンク、当会を応援いただき感謝の気持ちでいっぱいです。